

製品名: FAT2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10847**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	478kDa

抗原情報

遺伝子名	FAT2
別名	CDHF8 KIAA0811 MEGF1
遺伝子 ID	2196.0
SwissProt ID	Q9NYQ8
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

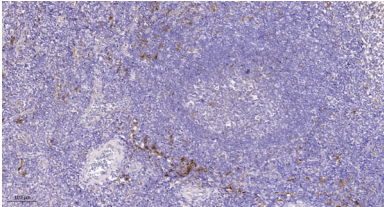
この遺伝子は、ショウジョウバエの fat 遺伝子のヒト相同遺伝子として 2 番目に同定された遺伝子です。fat 遺伝子は、ショウジョウバエの発生過程における細胞増殖の制御に不可欠な腫瘍抑制因子をコードしています。この遺伝子産物は、カドヘリン型リピート配

列の存在を特徴とする膜貫通タンパク質群であるカドヘリンスーパーファミリーに属します。34個のカドヘリン型リピート配列をタンデムに含むことに加え、2個の上皮成長因子 (EGF) 様リピート配列と1個のラミニン G ドメインを有しています。このタンパク質は細胞接着分子として機能し、細胞増殖を制御し、小脳の発達において重要な役割を果たしていると考えられます。[RefSeq 提供、2008年7月]、類似性: ラミニン G 様ドメインを1個含む。、類似性: EGF 様ドメインを2個含む。、類似性: カドヘリンドメインを32個含む。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。